

⑪ 特定非営利活動法人 塩谷町旧熊ノ木小学校管理組合

所在地 塩谷郡塩谷町

主な活動 廃校舎を利用した宿泊型体験学習施設の管理運営

■事業内容

塩谷町で廃校になった校舎を利用して宿泊型体験施設を運営している。年間約4千名が宿泊しており、主に合宿として、ボーイスカウト・ガールスカウト・少年野球・育成会等が利用している。自然体験、農林業体験、伝統工芸体験等を通じ、子供たちに自然と地域との交流を深めてもらっている。運営は理事長を含む、常勤職員3人と地元の方によるパートのほか、指導登録者のボランティアにより運営されている。

■創業のきっかけ

熊ノ木小学校は平成11年3月に廃校となり、124年の歴史に幕を閉じた。廃校になった木造校舎をいつまでも残したいという地域の要望と廃校を生かした社会貢献活動をしていきたいという代表の意見が合致し、地元主導による運営を行うことになった。

運営体制は公設民営方式が採用され、補助金で校舎を改修し、平成13年にはNPO法人となり、平成14年より施設の管理を請け負うこととなった。運営費の捻出には宿泊者を増やす必要があるため、マスコミにパンフレットを送ったり、リピーター確保のためにスタンプカードを作成するなどの営業努力を行っている。

■創業時の課題と成功のポイント

- ① 地域に愛された校舎を守るといふ思いだけでは廃校は維持できないので、地元住民に加え、体験と交流を担う多くのボランティアの協力により体制が固まり、宿泊型体験施設として認められた。
- ② 代表の思いを地域が受けとめ、行政が支援したのが成功の要因。校舎の改修や利用には行政支援が不可欠であった。そのためのNPO法人の設立も的確な選択であった。
- ③ 学校にお年寄りが孫を連れて訪れたり、グラウンドゴルフやゲートボールの練習に訪れたり、中高校生がボランティアに参加するなど、これまで、積極的に地域づくりに参加しなかった層が訪れるようになった。

